

【講演者プロフィール】



松村 浩道 鎌倉元氣クリニック 院長

平成5年日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室。
関東通信病院（現 NTT 東日本関東病院）ペインクリニック科、医療法人誠之会 氏家病院ペインクリニック科・精神科、医療法人社団藍風会江の島弁天クリニックを経て、平成29年10月スピッククリニック（現 鎌倉元氣クリニック）院長。

著書に「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」（マイナビ出版）「脳腸相関で未病を征す」（七星出版）がある。



柳澤 厚生 点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

杏林大学医学部卒業、同大学院修了。医学博士。米国ジェファーソン医科大学留学、杏林大学医学部内科助教授、同大保健学部救急救命学科教授を経て、2008年より国際統合医療教育センター所長。また、神奈川県 鎌倉市にスピックサロン・メディカルクリニック(現・鎌倉元氣クリニック)を開設。米国先端治療会議認定キレーション療法専門医(CCT)、アメリカ心臓病学会特別正会員(FACC)。
2009年第10回国際統合医学会会頭。2012年より国際オーソモレキュラー医学会会長(カナダ)。2011年国際オーソモレキュラー医学会殿堂入り(カナダ)、2014年アントワヌ・ベシヤン賞(フランス)、パールメーカー賞(アメリカ)、世界神経療法会議最優秀アカデミー会員(エクアドル)を授与される。2018年国際オーソモレキュラー医学会第47回東京大会会長、2019年日本オーソモレキュラー医学会第1回会頭。

著書に『ビタミンCががん細胞を殺す』(角川SSC)、『グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す』(GB)、『つらくないがん治療:高濃度ビタミンC点滴療法』(GB)、『奇跡を起こす点滴でアンチエイジング』(主婦の友)などがあり、海外でも翻訳出版されている。